

# みかん

春芽が  
動き始めます



果樹林産センター  
小杉 真啓

3月は、気温の上昇と共に春芽が動き始めます。生育の手助けができるよう剪定や春肥の施行をしましょう。

## 《品種更新・改植》

30年生を超えた老齢樹や高接後15年経過した樹は、生産力が低下しているため、若返りを図るために改植を進めましょう。苗木は乾燥に弱いため、①根を乾かさない②植え付け後に充分なかん水を行います。

## 《剪定》

近年、園地内でも樹ごとで着果のバラツキが増えています。同じ園地内でも樹の状態に応じた剪定を行いましょ。剪定を行うことにより、作業性の向上や日照時間の確保、薬剤散布をしやすくなります。効率の良い剪定のためには、園地や樹ごとに優先順位をつけ、

先に表年が予想される樹を剪定してしまつとです。表年の樹は「早く強く」、裏年の樹には「遅く・弱く」を基本にして、効率良く作業を進めましょ。剪定の目的は、「樹冠や樹高の調整で作業性の向上」、「採光・通風を確保し、果実の品質向上や病害虫の発生を減らす」、「発育枝の剪除や予備枝の設定による着花量の調整」です。この目的を念頭に置き、鋸や鋸を入れましょ。

## 《春肥》

春肥は、新芽の充実や幼果の肥大に影響を与えます。3月中旬頃に施用ですが、早い時期だと根の養分吸収率が低いため流れてしまひ、遅い時期だと新芽の充実や幼果の発育に養分が行き渡らず樹勢の低下を招いてしまひます。春草は除草し、施肥後の吸収効率を高めるために、中耕を行つてくたさい。

## 施肥時期…3月中旬

- ・ 早生 柑配6号 80kg
- ・ 青島 柑配4号 100kg

## 《病害虫防除》

近年、台風の影響により、かいよう病の発生が多く見られます。発芽前の防除が一番効果があるので、発病した園や発病しやすい品種では防除を行いましょ。

また、1月にマシン油散布を実施していない場合は散布を行います。ICボルドー66Dとの散布間隔を14日程あけてくたさい。

- ・ かいよう病 ICボルドー66D 60倍
- ・ ミカンハダニ、カイガラムシ類 マシン油乳剤(97%) 60倍